

甲 通津中だより

校訓 自主 協調 実践

第3号 令和5年6月13日
発行 岩国市立通津中学校
Tel (0827) 38-1019
Fax (0827) 38-2705

日々、生徒たちの成長を感じています

校長 林 哲史

5月末に、1年生は岩国班別研修、2年生は山口班別研修、3年生は関西方面に修学旅行に行ってきました。保護者の皆さまのご協力のもと、どの学年も、事故やトラブル等もなく、無事に終わることができました。ありがとうございました。

ここで、引率した学年主任からの報告を紹介します。

1年部の金平学年主任からは、生徒たちは、想像していた以上に、熱心に研修していました。とても立派でした。研修先の吉川史料館の職員から、「こんなに一生懸命にメモをとる中学生は初めてです。本当にスゴいですね。」と褒められました。

2年の上野学年主任からは、いつもの明るい学年らしく、とても元気で、みんなよい表情で一日を過ごしていました。「本当に、かわいい生徒たち、素敵な学年だなあ」と再確認しました。

3年の西川学年主任からは、修学旅行中、まったく指導する場面がありませんでした。男女とも、時間厳守に心がけて行動し、感心しました。生徒たちは、個人としても、集団としても、とても成長しています。

また、6月7日(水)に、小学6年生を招いて、無言清掃体験と授業参観を行いました。小学校の先生が、児童たちに、「中学生は、昼休みが終わった5時間目でも、誰一人、ほおづえをついたり机に伏せたりするような姿勢の悪い人はいませんでしたね。昇降口の靴も、全部かかどが揃っています。すごいですね。あと半年間で、皆さんも、中学生の先輩に近づけるように頑張りましょう。」と話されていました。

今年度、着任した私も、生徒たちの成長を日々、感じております。生徒たちは、本当によく頑張っています。これからも保護者、地域の方々と一緒に、通津地区の宝である生徒たちを立派に成長させていきたいと思っています。今後とも、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

TLTが始まりました。

5月に入り、TLTがスタートしました。今年度は、各学年で必要な学習内容を検討し、実施しています。指導も学年部で対応しており、複数体制で臨んでいます。

ドリルパークというタブレットにあるソフトに加え、やまぐちっ子学習プリントなども使用し、基礎学力の充実に努めています。



修学旅行・班別研修に行ってきました！

5月26日(金)、1年生は岩国研修を、2年生は山口研修を行いました。

1年生は、班ごとに通津中から吉香公園へ向かい、横山を散策し、通津中に戻ってくる班別研修でした。交通手段の支払いにはICOCAを利用しました。吉香公園では、降り注ぐ光のなか、木陰でお弁当を食べ、午前中の疲れを癒やしていました。各施設を巡っての研修では、生徒がメモをとっている様子に、居合わせた方から「これほど熱心にメモをとる中学生は見たことがない」とお褒めの言葉もいただきました。生徒自身の学習になるだけでなく、通津中の評価も高めてくれました。これから作成されるまとめが楽しみです。



2年生は、1年生よりも30分早く出発式を行い、山口研修に向かいました。午前中は、山口大学にて学校見学を行い、上級学校について、その雰囲気を感じることができました。午後は、各班のテーマに沿った班別研修を行いました。山口情報芸術センターを出発し、瑠璃光寺に集合する研修で、徒歩での移動が多い班は、本当に疲れた様子でした。

最終地点の瑠璃光寺は、令和の大改修の最中で国宝五重塔を見ることができませんでした。しかし、70年ぶりの檜皮葺屋根の葺き替え工事という貴重な伝統技術継承の一コマを、遠くから眺めることができるのも、そうそうあることではないと思います。吹き替え工事は令和7年まで続くとのことでした。中学卒業後に、再度見学に行くと良いかも知れません。2年生は、6月17日(土)に、研修の発表会を行う予定です。

3年生は、5月27日(土)から29日(月)まで、2泊3日の修学旅行を行いました。1日目は法隆寺、東大寺盧舎那仏(大仏)・南大門を見学しました。2日目は京都班別研修を、3日目はUSJを楽しみました。修学旅行を終えた生徒の感想は以下の通りです。写真は、次号にて紹介したいと思います。

時間を守ることや計画を立てて行動すること、あいさつやお世話になった方々への感謝の気持ちを伝えることの大切さを学びました。中学校生活も残り少ないので、日々、感謝の気持ちを伝えられるようにしたいです。

マナーや仲間との協力が大事だと思いました。理由は、自分ができないことを仲間ができて、他の人ができないことを自分がやったりして、修学旅行を楽しめたからです。

人の量やバスで予定がくるう。分かってはいたが、それも含めて予定を立てることが大切だと改めて思った。これからは、余裕をもって予定を立てるようにする。

